

2013 年度 小委員会活動成果報告

(2014 年 2 月 6 日作成)

小委員会名	パイルド・ラフト基礎の設計法検討小委員会	主 査 名：土屋 勉 就任年月：2012 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (基礎構造運営委員会)	委員長名：緑川光正 主 査 名：時松孝次
設 置 期 間	2012 年 4 月 ～ 2014 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・パイルド・ラフト基礎の設計が可能となるような具体的な設計方法の提案。 ・初年度：鉛直および水平問題に関する簡易法の適用性検討。 ・2 年度：得られた成果・知見を基礎指針改定委員会で利用可能な形態（論文投稿やシンポジウム開催、報告書など）に取りまとめ。 	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	主査：土屋勉（室蘭工大） 幹事：長尾俊昌（大成建設） 委員：山本春行（広島大）、山崎雅弘（岡山理科大）、松尾雅夫（安井建築設計）、山下清（竹中工務店）、金子治（戸田建設）、眞野英之（清水建設）、佐原守（大林組）	
設置 WG (WG 名：目的)	<ul style="list-style-type: none"> ・パイルド・ラフト基礎の設計法（鉛直）WG：パイルド・ラフト基礎の鉛直問題（支持力・沈下）に関する設計法の検討 ・パイルド・ラフト基礎の設計法（水平）WG：パイルド・ラフト基礎の水平抵抗に関する設計法の検討 	
2013 年度予算	760,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	7 回（年度内計画を含む）
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 鉛直 WG では等価びく法の有効性を確認するとともに支持力検討を実施 2. 水平 WG では地盤変位が杭応力に与える影響を検討 3. 成果の一部を AIJ 大会や論文集等に発表予定
委員会活動の問題点 ・課題	1. パイルド・ラフト基礎の鉛直支持力の考え方 2. 水平問題における地盤変位の影響の考慮方法